# 令和７年度第２回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

# 令和６年度夢づくり地域交付金ステップアップ事業　事後評価
# 令和６年度夢づくり市民活動補助事業　事後評価
# 令和７年度夢づくり市民活動補助事業（追加分）　審査

# 議事録

**日　　時**：令和７年７月９日（水）　午後５時３０分から午後９時００分

**場　　所**：瑞浪市役所本庁舎　２階大会議室

**出 席 委 員**：大宮　康一（委員長）、辻本　紀み子（副委員長）、谷本　陽子、柴田　洋子、
富田　宏、有賀　秀雄

※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

**事　務　局**：瑞　浪　市　長　水　野　光　二
みずなみ未来部長　正　木　英　二（欠席）

**事務局職員**：市　民　協　働　課　長　奥　谷　ひとみ
まちづくり支援係長　中　筬　高　弘
まちづくり支援係　大　髙　まりあ

**次　　第**：１．市長あいさつ
２．委員長あいさつ
３．審査会の進行等についての説明
４．活動報告（事後評価）
５．審査
６．閉会

**【１　市長あいさつ】**

本日は、夢づくり地域交付金等事業審査会にご出席いただきありがとうございます。

まず、ステップアップ事業といたしまして、日吉町が天狗の台所の大規模改修および移転を行い、保健所からの許可もいただいた施設にリニューアルされました。素晴らしい施設を町内外の方に活用していただき、特産品の開発にもつなげていただきたいと思います。

また、５団体が夢づくり市民活動補助事業を実施されました。私もできる限りそれぞれの事業に参加させていただきました。外で行うイベントは天候に左右される場合もあり、どれだけ準備をしていても思うような成果が挙げられないということもありました。室内で行うイベントに関しては、計画通り、多くの方に参加していただくことができたと思います。それぞれの団体の皆さんがどのような報告・総括をされるのか楽しみにしております。

今年度の追加事業といたしまして、瑞浪青年会議所が申請をされています。ご指導やご助言をお願いいたします。

昨年度瑞浪青年会議所が実施された水泳の事業では、泳ぎ切った子どもたちが涙を流して保護者の方に抱きつくなど微笑ましい光景もありました。また、みずなみ盛り上げ隊が実施されたランタンナイトは天気もなんとかもち、多くのランタンが浮かび、ミュージシャンの方の演奏もありました。皆さんに楽しんでいただけたのではないかと思います。

それぞれの報告に対して次につながるようなご助言、ご提案をいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

**【２　委員長あいさつ】**

本日は１件のステップアップ事業と５件の市民活動補助事業のご報告、さらに１件追加の事業審査があり、多様なご報告、ご提案の審査をしていただきます。瑞浪市の市民活動の活発さをうかがえる会になるかと思います。今回も、次に進めるような意見交換の場になればと思います。多様な意見が市民団体の次につながる貴重なご意見だと思いますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思います。本日は、よろしくお願いいたします。

**【３　審査会の進行等についての説明】**

≪審査会の進め方について事務局より説明≫

**〇委員**

意見交換の時間（１０分）には市長の講評も含むか。

**●事務局**

市長の講評も含めて１０分とする。

**【４　活動報告（事後評価）】**

≪①各団体からの事業報告≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

**日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）**

**〇委員**

役務費の本年度予算額が、手数料等２万円、通信費等１万円、小計２万円となっている。誤りではないか。

**●日吉**

小計３万円が正しい。お詫びして訂正する。

**〇委員**

今回の事業ではＪＡとうとから寄付をいただいている。ＪＡとうとでは毎年１回、年金者へのお礼に八百津のせんべいや海苔の詰め合わせなどの粗品を送っている。ふりかけやジャムなど手軽な商品を開発されるのであれば、このお礼の品にしていただくことで、商品を身近に感じてもらい、口コミで広がることも考えられる。ぜひアピールしていただくと良いのではないか。

**●日吉**

可能性はあると考えられる。ＪＡとうとは特産品関係以外にも、まちづくり推進協議会で行っているにじいろファームにさつま芋の苗を提供していただくなど、友好的な関係を築けている。今後、さらに関係性を深めていきたい。特産品の目途が立ったら、幅広い方に知っていただけるよう展開していきたい。

**〇委員**

公有財産有償貸付契約をされているが、支出に借地料や賃借料が含まれていない。無償で借りているのか。

**●日吉**

毎年、土地、建物両方に対して賃料が発生する。令和６年度は日割りの金額を支払っている。支出は夢づくり地域交付金ではなく、特産品開発事業から支払っているため、今回の資料には載せていない。

**〇委員**

乾燥機の使用にはどのような手続きが必要か。また、料金はどのようか。

**●日吉**

事前に電話にて予約をしていただき、料金は１台（１２時間）あたり２千円となっている。

＜市長コメント＞

素晴らしい施設ができ、保健所の許可も得られたことは大きな成果である。今後、フル活用できるようにＰＲしていただき、日吉町内だけでなく多くの方に利用していただきたい。料金の２千円は何名か

のグループで乾燥したいものを持ち寄り利用することも可能ではないか。

**瑞浪暮らしの彩りマーケット実行委員会（以下「彩りマーケット」）**

**〇委員**

「小学生店長」とは具体的にどのような取り組みか。

**●彩りマーケット**

整うマーケットでは、お子さんが店番をすることや学生の出店も可としている。ただし、金銭のやり取りが必要となるため、お子さんが店長になる場合は必ず保護者の方が付き添うようお願いしている。小学生店長を大々的に募集しているわけではないが、各出展者の意向でお子さんが作った作品を販売したり、子どもがいらなくなったおもちゃなどを自分で売ったりしてお小遣いにするなどされている。

**〇委員**

駐車場の件について、たくさんの方の出入りがあったと思うが、どのような苦労があったのか。

**●彩りマーケット**

今回は駐車場がいっぱいになり、交通整理が大変だった。ただし、単に駐車場のキャパを増やしただけでは公園内が混雑していまい、行列ができるなどの問題が生じる可能性がある。バランスを見て調整していきたい。

**〇委員**

他地区からの応募者数やリサイクル品として持ち込んでいる方はどのくらいいらっしゃるのか。また、前年度と比較して、人数の推移や今後の展望はどのようか。小学生店長については、保護者の苦労もあると思うが、高学年になれば金銭感覚もあり、商品売買の自覚もできる。子どもにある程度任せることで子どもの成長にもつながるのではないか。今後もぜひ取り組んでいただきたい。

**●彩りマーケット**

整うマーケットは年に３回実施している。応募人数は昨年度から横ばいの回もあれば、季節によって少ないこともある。一般の方はプロのクラフターの方に比べ、マーケットへの出店に不慣れなこともあり、足踏みはゆっくりだと感じている。出展を希望する方からどのようなテントを購入すべきかといった相談を受けることもあり、出展したい気持ちはあるものの、二の足を踏んでいる方が水面下にはたくさんいるのではないかと感じている。彩りマーケット側から、フリーマーケットに興味がある方に出店方法をレクチャーするなど、発信の機会も検討していきたい。不用品をただ捨てるのではなく、マーケットでお子さんが金銭授受の経験を積んだり、電子マネーで金銭のやりとりが減っている中で小売りの原点を感じたりできるような場所にしていきたい。

**〇委員**

収入の部に「出店料（ＰＲ）」という項目があるが、どのようなものか。

**●彩りマーケット**

活動のＰＲやマッサージなどの施術を行うブースは「ＰＲブース」として区別している。

**〇委員**

出店者数が横ばいであったり、駐車場と来場者のバランス調整が必要であったりする中で、出店者の方にとってはある程度の収益を見込むマーケットである必要もある。地域の方が楽しむマーケットであることと、作家が商品を売る収益のバランスを今後どのようにとっていくか。

**●彩りマーケット**

出店者は大きく飲食系とクラフト系に分けられる。飲食については集客があれば盛り上がり、あとは出店者それぞれがいかに努力し、お客さんの胃袋を掴むかである。そういった出店者を厳選して出ていただくようにしている。一方で、クラフトの出店者は近年作品が売れづらくなっている。ここにナイトマーケットを年１回にした理由がある。毎月マルシェを行っているところもあるが、特別な作品を毎回買うことはなくなってくる。日常的なマルシェではなく、「ここでしか買えない特別なもの」という価値を感じていただくストーリーを彩りマーケット側が作っている。今回、「明世ホタルＮＩＧＨＴ」とのコラボでは、飲食系をメインとし、クラフトを少なめにするなど、通常のナイトマーケットとの差別化を図った。今年５月のナイトマーケットは雨の中の開催になったが、クラフトの出店者の方から、「瑞浪でしか会えないお客さんが来てくださり、売り上げが大幅に落ちたということはない」という話をしていただき、１年に１回の開催にした意味を実感した。

＜市長コメント＞

天気に恵まれない回もあったが、ファンの方が来場されているという話をお聞きし、安心した。屋外のイベントはどうしても天気に左右されるが、経験を活かして主催され、出店者もある程度覚悟を持って出店され、売り上げを上げている点が素晴らしい。ただ開催するだけでなく、しっかりと戦略を練っているのも素晴らしく、感服した。今後も瑞浪市を舞台に開催し、瑞浪市を盛り上げていただきたい。

**美濃源氏大太鼓保存会（以下「保存会」）**

**〇委員**

自主財源が約１６万円となっているが、内訳は１０名の会員の年会費か。

**●保存会**

年会費もあるが、現在のところ、出演料で大半をまかなっている。

**〇委員**

目的を「子どもたちへの伝統文化の継承」と明確に示されている。評価の仕方は参加人数だけでなく、主催者や参加者の気持ちの高まり、さらに、保護者など支えてくださる周りの方の評価もくみ取っていただくと、より素晴らしい活動になる。

**●保存会**

子どもだけでなく保護者も巻き込み、太鼓の良さを分かっていただくことで、保存会の存続にもつながればと考えている。一般の講座には親子での参加もあり、楽しんでいただけた。

**〇委員**

補助金の申請は１６万円と少額だが素晴らしい事業を行っていただいた。補助金の申請額を増額することで活動が広がるのであれば、ぜひ検討していただきたい。

**●保存会**

太鼓の数やスタッフの人数、また、１チーム５人と考えると４チームが精一杯となり、参加者の２０名を増やすのは難しい。講師の方は美濃源氏大太鼓保存会の出身であり、現在は“志多ら”として全国で活躍している。快く講師を引き受けていただいた。人数を増やすのは難しいが、例えばバチが折れてしまった場合に備えて１人２セットお渡しするなどできると良かったかもしれない。今回は１人１セットという制限がある中で大切に使っていただいた。

**〇委員**

支出に飲み物の計上がないが、配布はしていないか。

**●保存会**

飲み物やタオルを持参するよう通知し、参加者の方に持ってきていただいた。

＜市長コメント＞

目標どおりの取り組みをされ、成果につながっていることが良く理解できた。保護者の方からの手紙がまさにその成果を表していると感じた。スタッフを集めるのは大変だと思うが、せっかくこれだけの取り組みを確立されているため、ぜひ続けていただきたい。子どもたちにとって、大変良い経験となっているため、今後もぜひお願いしたい。

**子どもの食と未来を考える会（以下「子どもの食と未来」）**

**〇委員**

参加者のアンケートから、大変満足度の高い会だったことが伝わる。参加者の方が今後どのような活動を期待しているのか、また、どのような点に着目した活動を望んでいるのかという意見を様々な機会で収集することにより充実した活動が展開できるのではないか。

**●子どもの食と未来**

もう一歩進んだアンケートになるよう検討する。

**〇委員**

たくさんの方が参加し、オーガニックの良さを勉強されている。多くの方のライフスタイルを変化させるのは簡単ではないが、今後どのように活動される予定か。

**●子どもの食と未来**

若い方向けにはインスタグラムなどの方法で情報を発信しており、何万人という拡散もある。また、東濃オーガニックマルシェの事務局が恵那市にあり、東濃地区の代表者が情報共有し、オーガニックを東濃全体に広げる活動が発足した。瑞浪だけでは行き詰まりがあるが、東濃まで広がると上手に発信している方がいらっしゃったり、１０月には恵那市役所の公園で大きなマルシェの開催を予定されたりし

ている。そういった活動を応援し、地域を越えた動きに参加していきたい。

**〇委員**

活動は年１回か。広く活動することも大切だが、年に複数回企画を行い、確実に足を運んでいただける方をつくることも大切である。食改善の会との協力も考えられる。

**●子どもの食と未来**

交付金をいただいた活動は年１回、今年で２回目となる。それ以外にも勉強会や講演会を開いているが、勉強会が多すぎると主催者側の負担が大きくなる。恵那市や中津川市は若い方が主催者側として手を挙げて頑張っているため、応援したいと考えている。来年は小さな企画でも、皆さんに来ていただけるようなものを考えたい。

**〇委員**

オーガニック給食はどの範囲を想定しているのか。

**●子どもの食と未来**

市内の保育園、小学校、中学校を想定している。全国の中には市町村単位で実現しているところもあり、活動を広めていきたい。

＜市長コメント＞

長い間オーガニックに取り組まれ、現在関わっている園でも実践されており、それを高く評価している保護者の方がいらっしゃる。少しずつ理解者を増やしながら、先進的な動きにも積極的に参加し、活動を広げていただきたい。オーガニックの食品を給食で使おうとしても、量が供給されなければ難しく、良いと分かっていても取り組めない現実がある。農家さんの育成については、瑞浪市として可能な範囲で協力したいと考えている。今後も頑張っていただきたい。

**有志団体みずなみ盛り上げ隊（以下「みずなみ盛り上げ隊」）**

**〇委員**

当日は夜で駐車場が心配だったが、会場までスムーズに歩いて行くことができた。思い思いにランタンに願いを書き、ランタンが上がったときの歓声は素敵だった。当日までは、樽上球場など周りからも見えるような場所が良いのではと思っていたが、あれだけのランタンが絡まることなく打ち上がるには、今回の会場が適切だったと感じた。素晴らしい取り組みだったため、今後の事業も楽しみにしている。

**〇委員**

なつかしの動画の評判はどうだったか。今後も活用の機会を見つけていただきたい。

**●みずなみ盛り上げ隊**

２０分間ほどの動画を上映したが、子どもにはあまり関心を持っていただけなかった。会場が広いなどの要因もあり、全員に見ていただくことはできなかった。年配の方には動画をなつかしんでいただき、ＱＲコードで動画を拡散した。

**〇委員**

どのようにアンケートを渡し、回収していたのか。回答率が低く、事業検証するには難しい。

**●みずなみ盛り上げ隊**

アンケートの計画が遅れ、急遽二次元コードを作成した。読み取っていただき、回答していただく方法をとった。受付で４００名程の方に二次元コードを読み取っていただいたが、回答の回収率は低かった。

**〇委員**

１，５００名もの方が参加したのであれば、アンケートでデータを収集することで、より説得力のある次の展開につなげることができた。次回はアンケートの実施を前提に計画していただきたい。

**〇委員**

準備から皆さんのワクワクが伝わってきた。なつかしの動画はＬＩＮＥで拡散され、楽しませていただいた。

**〇委員**

当日参加させていただいたが、受付の場所が不明確だった。人の流れに合わせて受付を設置していただくと良かったのではないか。

＜市長コメント＞

次につなげるためにはアンケートの回収率を上げられると良かった。参加者の方は大変楽しんでおり、市制７０周年にふさわしいイベントにしていただけた。前回のシークレット花火に引き続き、素晴らしいイベントだった。ぜひこの経験を活かして次のイベントを企画し、瑞浪市を盛り上げていただきたい。

**一般社団法人瑞浪青年会議所（以下「青年会議所」）**

**〇委員**

参加者は瑞浪市全体に分布しているのか、学年の偏りはどのようか。今回対象でなかった学年についても、今後、学年に合った方法で自己肯定感や自己効力感を高める取り組みを展開することを期待する。

**●青年会議所**

人数の差はあるものの、すべての小学校から参加があった。今回の事業は２～４年生を対象に募集した。安全面の確保から２年生以上、また、水泳協会の方から、２～４年生は高学年に比べ水泳教室をとおした成長が大きくなるとお聞きし、多くの結果が得られる学年を対象として設定した。実際に、２５メートル泳げるようになった子やチャレンジシートをすべてクリアする子がおり、成長の結果が多くみられた。

**〇委員**

アンケート結果の発表スライドはもう少し字を大きくしていただきたい。事業前後で多くの項目のパーセンテージが上がっているが、大きく上がっている項目は少ないと感じた。目標設定をして努力し、

保護者から修了証を渡すというアイデアは良い。

**〇委員**

今回はチャレンジすることをテーマに水泳教室をおこなっていただいたが、ぜひ、命を守るための水泳教室を実施していただきたい。今後、水難事故のニュースが増える時期になるが、親子で学べる機会を設けていただけると嬉しい。

**●青年会議所**

本事業の申請時にも命を守るという視点のご意見をいただいたため、今回の水泳教室に反映できないか検討し、事業説明会の際に楽しみながら学べる安全講習を実施した。今回は挑戦を応援する事業だったが、安全についても一緒に学べるような企画を検討したい。

**〇委員**

プールがない小学校も出てきている中で、このような取り組みをしていただいたこと自体が素晴らしい。安全については、泳ぐことが安全を確保すると理解する方が多いが、泳ぐと体力を使ってしまうため、いざとなればその場で浮いていることが重要になる場合もある。着衣水泳をしている学校もあり、重さを体験できる面では効果があると考える。泳ぎの教え方を保護者の方も学ぶ機会になると良かった。今後の活動に期待している。

＜市長コメント＞

最後の修了式を見学させていただいた。泳ぎ切り、保護者の方と抱き合っている姿もあれば、泳ぎ切れず泣いている姿もあった。泳げた子は達成感があり、泳げなかった子は悔しさがあったと思うが、そのどちらも大きな経験である。親子の絆も深まったのではないだろうか。普段体験できない機会を考え、実施していただいたことを高く評価したい。目標設定のカードがよく工夫されており、素晴らしい。単に水泳教室を実施するだけでなく、過程を大切にしながら事業を実施され、今後の活動の参考にもなるのではないか。水泳だけでなく様々な企画に挑戦していただきたい。

**【５　審査】**

≪①団体からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

**一般社団法人瑞浪青年会議所（以下「青年会議所」）**

**〇委員**

壁画は、瑞浪青年会議所側が具体的なデザインを提示して描いていただくのか。また、子どもたちや市民のアート体験はお披露目会と同日に実施するのか。

**●青年会議所**

アーティストの考え方や思いを壁画で表現することに可能性を感じているため、事業の目的や背景を

お伝えするだけにとどめようと考えている。会場となる場所の写真をアーティストの方に見ていただいたところ、虹が想像できたとのことであり、カラフルな明るい絵になるのではないか。お披露目式は午前中に実施し、その後体験を予定している。お披露目式に参加した方もそうでない方も参加していただけるよう、周知したい。

**〇委員**

様々な条件があると思うが、今回提案した場所が最も絵を設置したい場所か。道路からも見え、多くの人が行き交う場所が他にもあるのではないか。

**●青年会議所**

最初はきなぁた瑞浪を想定していたが、実現は難しく、改めて候補地を探した。最終的には、今回の場所が最も良いと考えている。今回依頼するアーティストは安八町で約１７箇所壁画を制作しており、実際に壁画を見に行ったメンバーから、市の構造物に描かれた壁画が最も目立つという意見があった。このため、市民公園という市の施設に壁画を設置することに魅力を感じた。また、同時にイベントを開催できる場所として適しており、他のイベント会場になることもあるため、見ていただく機会を作りやすい。さらに、今回の壁画は階段の両サイドの壁に制作するため、どんな壁画ができるか楽しみである。

**〇委員**

壁画制作後の維持管理についてはどのようか。シビックプライドの醸成を目的にするのであれば、駅前や学校などもっと人の目に触れる場所があるのではないか。今後、可能性を探ることはできるか。

**●青年会議所**

維持管理については市の担当課と話をしており、制作側である青年会議所が行う。壁画を制作した段階でコーティングを行い、これが５～８年もつ計画である。完成した壁画は、１０年間は残すことを想定しており、５年が経過した段階で再度建築業者にコーティングを依頼する予定である。今回の事業で終わらせるつもりはなく、１０年、その先も続けたいと考えており、その段階で、より人の多い場所などを候補地として挙げていきたい。今回は人が集まる市民公園に制作することで次の事業にもつながると考えている。

＜市長コメント＞

昨年度は水泳教室を行っていただき、今回はアートというジャンルで企画をしていただいた。多くの方が訪れる公園のため、壁画の維持管理はやっていただきたい。また、壁画を制作して終わりではなく、壁画を活用したイベントなども計画していただき市民の思いの醸成につなげていただきたい。関連したイベントがあれば、継続的に壁画を楽しむことができ、ストーリーも理解することができる。提案していただいた趣旨が次の世代に伝わっていくと良い。市民の皆さんが感動するような作品にしていただきたい。

**【６　閉会】**

≪市民協働課長より閉会のことば≫　　以上